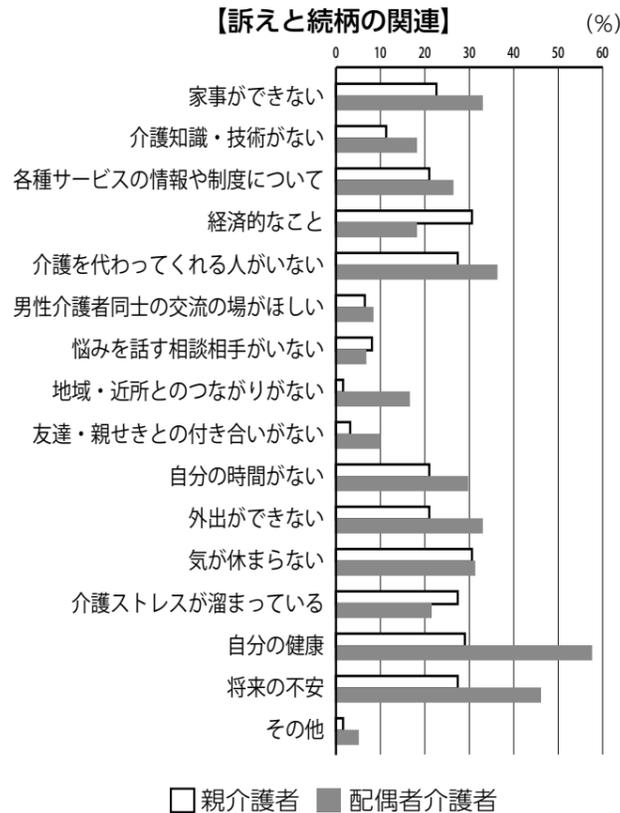




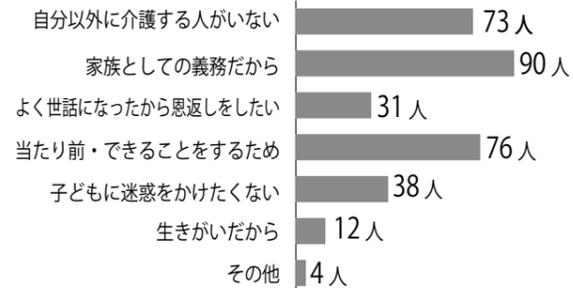
困っていること

配偶者介護の方は「自分の健康」や「将来の不安」の訴えが多くありました。親介護の方は自分の健康や将来のこと以外に「経済的なこと」に不安をもたれている傾向にありました。



介護している理由

「家族としての義務だから」「自分以外に介護する人がいない」という理由が多くありました。



男性介護者へのインタビュー結果から

不安を訴えられる発言もありましたが、介護をしながらも周囲からねぎらいの声掛け等、ちょっとした支えがあることで、介護者自身の精神的安定が図られていることもわかりました。

介護の負担

経済的な負担が大きい

兄弟姉妹に「疲れている」と言えない

家事に慣れていないので時間がかかる

介護の支え

みんなからすごいと言われる

近所の人に「見てて」と頼める

息子が家事を手伝ってくれるようになった

認知症サポーターの輪を広げていきましょう！

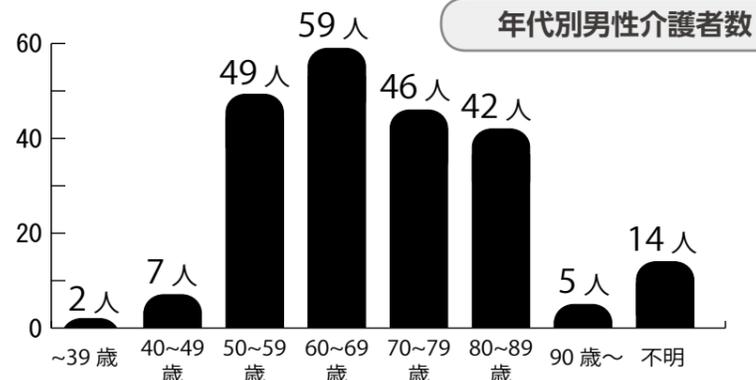


まず「認知症」について知ることが第一歩です。認知症を正しく理解し、サポートしていただける地域づくりを目指して、「認知症サポーター養成講座」をご依頼のあったグループや地域で開催しています。お申し込みは健康いきいき応援センターまでお願いします。

認知症サポーター養成講座

認知症の方やその家族を見守る応援者

は、認知症の方の一人歩き（徘徊）の可能性がります。連絡先が分からない時は警察に連絡してください。



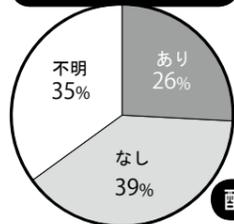
年代別では、60歳代の男性介護者が最も多く、次いで50歳代、70歳代となっていました。

男性介護者の平均年齢は67歳で、父母を介護している「親介護」の平均年齢は58.1歳、妻を介護している「配偶者介護」の平均年齢は79.5歳でした。

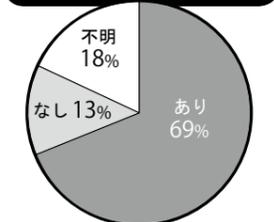
男性介護者の健康状態

通院されている男性介護者は全体の67%を占め、親介護では26%、配偶者介護では69%の方が自分自身の体調を管理しながら、介護をされていることがわかりました。

親介護者の通院状況



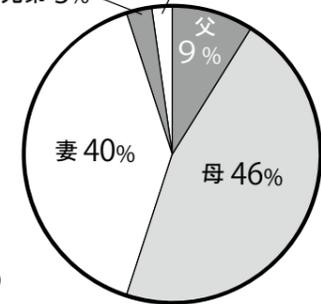
配偶者介護者の通院状況



介護者と要介護者の続柄

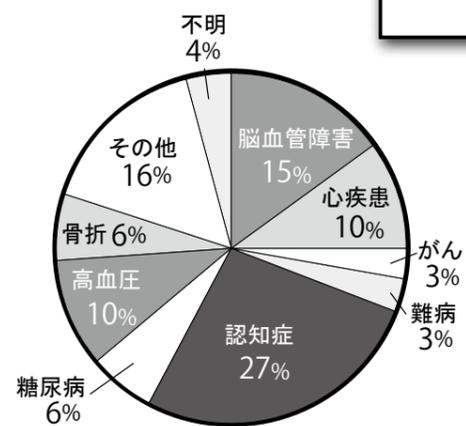
介護者から見た要介護者との続柄は、「親介護」が全体の55%、「配偶者介護」が全体の40%を占めていました。

兄弟 3% 母 46% 妻 40% 父 9% その他 2%



要介護者の主な病名

男性介護者の4分の1の方が認知症の方を介護されています。



男性介護者に関するアンケート調査

昨年度、高島市で男性介護者についてのアンケート調査と聞き取り調査を実施しました。調査の結果、在宅で介護をされている男性は224人おられ、介護者全体の16.7%を占めていました。



ケアメンの会を開催しています

この調査結果から、男性介護者が集まるケアメンの会が、仲間どうし支え合う大切な場になっていると改めて感じました。ケアメンの会では、介護の悩みを解消するため、専門家を交えた学習会や情報交換会も行っています。また、自分自身の健康にも目を向けていただけるよう健康相談も行っています。介護されている男性の方、介護について関心のある男性の方のご参加をお待ちしています。

今後の開催日程は、健康いきいき応援センター（地域包括支援センター）にお問い合わせてください。

高島市では、介護する側もされる側も、お互いに安心して暮らせる地域づくりをめざし、「認知症の方やその家族」、「男性介護者」の支援に取り組んでいます。今後、この結果をもとに、より多くの方に認知症や介護について理解いただけるよう、取り組みを工夫していきたいと考えています。

☎ 0193-2220193
 ☎ 0193-2220193
 ☎ 0193-2220193
 ☎ 0193-2220193